

3. 女性過活動膀胱に対する牛車腎気丸の安全性と効果 —西洋医学的アプローチによる評価—

JA尾道総合病院 泌尿器科¹⁾、中津第一病院 泌尿器科²⁾
○梶原 充¹⁾、沖 真実¹⁾、森山 浩之¹⁾、牟田口 和昭²⁾

【目的】牛車腎気丸の過活動膀胱（OAB）、夜間頻尿、前立腺肥大症に対する報告は多い。しかし、適応疾患、安全性、効果についての一定の見解はなくエビデンスは乏しい。今回、日本人女性 OAB に対する牛車腎気丸の安全性と効果を西洋医学的アプローチでプロスペクティブに評価することを目的とした。

【対象および方法】対象は、尿意切迫感 ≥ 1 回/週かつ排尿回数 ≥ 8 回/日を満たす女性 OAB。OAB の定義は IPSS ≥ 8 、QOL Index (IPSS-QI) ≥ 3 とし、残尿 ≥ 100 ml、神経因性膀胱、活動性尿路感染症、下部尿路癌、妊婦、骨盤内放射線療法後は対象から除外した。牛車腎気丸（7.5g/日）による OAB 治療希望例に対して証に関わらず 8 週投与し、排尿回数（昼間、夜間）、残尿、IPSS、IPSS-QOL を治療前後に評価し、wet-OAB には ICIQ-SF を追加した。さらにサブ解析として、dry-OAB/wet-OAB の 2 群に分け同様の評価をした。

【結果】52 例中 7 例が治療中断、1 例が検討から除外され、44 例を評価した。年齢は平均 67 ± 15 （51～83）歳で、副作用を 9%（4 例；胃部不快感 2 例、吐気 1 例、軟便 1 例）に認めた。排尿回数（昼間、夜間）、IPSS、IPSS-QI はいずれも統計学上有意に減少し、残尿は変化を認めなかった。IPSS-QI による効果判定では著効、有効、不変、悪化が 7%、46%、41%、7% であった。また、dry-OAB は wet-OAB に比べ、治療効果が高かった。

【結論】牛車腎気丸は女性 OAB に対して副作用は少なく、52% に有効であった。本検討にはコントロールがなくプラセボについても考慮する必要がある。しかし、牛車腎気丸は女性 OAB、特に dry-OAB に対し安全で有効な治療オプションのひとつとなりうる事が期待される。

4. 排尿障害に対する漢方治療の経験 —牛車腎気丸を中心に

横須賀北部共済病院 泌尿器科
吉田 実

以前、下部尿路症状に対して牛車腎気丸を投与した 109 例について、その効果をレトロスペクティブに検討し、その結果を第 23 回泌尿器科漢方研究会および、日本東洋医学雑誌（第 57 巻 第 5 号 2006 年）で発表した。その解析の内容は、各症例の性別、尿意切迫感・昼間頻尿・夜間頻尿・残尿感・排尿困難感等の症状の有無、糖尿病・高血圧・虚血性心疾患・脳梗塞等の合併等の有無を独立因子とし、自覚症状の改善の有無を従属因子として多重ロジスティックで多変量解析を行うというものであった。結果として、尿意切迫感を有する場合オッズ比 13.69 で全体と比べて有意に有効率が高くなった。また特筆すべきは、虚血性心疾患の合併例ではオッズ比 4.75、脳梗塞合併例ではオッズ比 11.82 とそれぞれ有意に有効率が高くなる結果となった。

今回、新たに当院において排尿障害に対して牛車腎気丸を投与した 25 例について検討を行った。その結果、全体として有効例 14 例、無効例 11 例であった。そのうち尿意切迫感を有する症例は有効例 12 例、無効例 6 例と全体と比べて有効率が高く、やはり排尿障害のなかでも尿意切迫感に対して特に有効であると考えられた。

また、当院で排尿障害に対して牛車腎気丸以外に用いて効果の得られた処方としては、八味地黄丸、桂枝茯苓丸、猪苓湯合四物湯、清心蓮子飲、苓姜朮甘湯、四逆散、当帰芍薬散、真武湯等があった。これらについても漢方医学的に検討したい。